

大学と戦争遺跡

— 市民とのコラボレーション —

日時：2026年2月11日（水・祝） 13時～17時

会場：岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール



旧日本陸軍岡山駐屯地内にのこる橋梁演習施設の見学風景

【内容】

趣旨説明 野崎貴博（岡山大学文明動態学研究所）

講演 岩本 崇（島根大学法文学部）

「旧海軍大社基地遺跡群の保存運動と今後の展望」

報告 油利 崇（高知県南国市教育委員会）

「高知海軍航空隊関連遺跡と高知大学」

石田智子（鹿児島大学法文学部）

「鹿児島の戦争遺跡をめぐる歴史実践—地域社会との価値共創—」

対話の場 進行：松本直子・野崎貴博（岡山大学文明動態学研究所）

【本カンファレンスの趣旨】

岡山大学津島キャンパスは、旧日本陸軍第17師団駐屯地を引き継いだもので、明治期の建物や施設等を豊富にのこしている陸軍師団駐屯地跡の一つです。

地域と地球の「ありたい未来の共創」に貢献することを使命とし、人類社会の持続的発展のための知的基盤構築を担う岡山大学が、キャンパス内にのこる歴史遺産をどのように活かすことができるのか。

本カンファレンスでは、市民と共同で取り組まれた戦争遺跡の保存運動や、平和歴史教育の実践から得られた成果と課題について学び、ともに考えたいと思います。また、戦争遺跡をめぐる大学と行政との関係についても取りあげ、さまざまな立場を超えた対話を重ねる場を創出します。